

ほっと NEWS

ここを支える、ここで支える

CONTENTS

特集

◆万聖祭の開催に向けて

NEWS & TOPICS

- ◆見て聞いて、そして体験する滋賀論
- ◆ゼミ合宿の取り組み
- ◆教職合宿をおこないました

特別クラブ前期結果報告

突撃！研究室訪問

ひと
こ
こ
ろ

地域



男子ホッケー部



関西学生ホッケー春季リーグ(1部)

①天理大 ②立命館大 ③朝日大 ④聖泉大

第4位

全日本大学ホッケー王座決定戦

初戦敗退

女子ホッケー部



関西学生ホッケー春季リーグ(1部)

①立命館大 ②天理大 ③聖泉大 ④関西学院大

第3位

全日本大学ホッケー王座決定戦

ベスト8

女子サッカー部



関西学生女子サッカー春季リーグ(1部)

①大阪体育大 ②武庫川女子大 ③姫路獨協大
 ④大阪国際大 ⑤神戸親和大学 ⑥聖泉大
 ⑦日本短大 ⑧京都文教大

第6位

突撃取材！研究室訪問



まつい こうた
松井 幸太 講師
 人間心理学科 健康運動心理専攻

富川 まず、「専門についてお聞かせください。」

松井 スポーツ心理学と臨床心理学を専門としています。スポーツ心理学はスポーツに関する心理的な事柄を考えていく学問。臨床心理学はその人らしさを大切にして人を理解していく学問です。この2領域を専門とする運動やスポーツ活動における心理面について、その人らしさを大切にして考えていくことがこの学問になります。

富川 具体的にどのようなテーマで研究をされていますか。

松井 部活動の現場で高校生を研究対象にしているのですが、部活動を通して生徒がどのように成長するのか、またそこに携わる指導者の関わりがどのように影響しているのかについて研究しています。

富川 部活動と生徒の皆さんの成長、指導者の影響ですか。面白そうですね。研究の結果、どのようなことがわかりましたか。

松井 指導者の部員への関わり方には「褒める」「叱る(いかる)」といったものがあります。指導者が褒めると部員のやる気が増し、叱ったほうが得るんではないかと思いますが、時にはその逆もあり得るんですね。叱ったことで部員のやる気が引き出されたり、褒めたことでやる気が削がれたりする場面もあります。では、その違いはどこから生じるのか。その部員についての指導者の関わりがどのように受け止められたのか、ということが注目していく必要があり、特に、部員と指導者との関係が影響を与えていると私は捉えています。

富川 ありがとうございます。では、次に担当されている授業についてお聞かせください。

松井 「健康運動心理概論」という授業では、人の健康と運動について心理学的な視点から考えていきます。例えば、身体の健康の維持増進のために運動は欠かせないものですが、積極的に運動に取り組むようになるにはどのような良いのか、また反対に、運動やスポーツをすることが、心の健康や心の成長にどのように寄与しているのかといったことを話題としています。

また「健康運動心理実習」では、メンタルトレーニングを体験してもらっています。例えば、大切な試合前に気持ちをうまく高める方法を学んだり、反動に試合前に緊張して身体が固くなってしまう時にリラックスしたりする方法について学びます。自分自身で心を整え、心理面からの競技力の向上を支えていくためのトレーニングですね。

富川 最後に高校生の皆さんへメッセージをお願いします。

松井 できれば、今、目の前にあることに対して一生懸命であってほしいと思います。勉強や部活動、アルバイト、遊びや恋愛などいろいろありますが、夢中になって打ち込める何かがあるということが、人を成長させてくれるように思います。

(インタビュー)
 人間心理学科 富川 拓准教授

f 聖泉の旬な情報が満載！ ※ログインなしでも閲覧いただけます

公式 **face book** をCHECK!!

<https://www.facebook.com/SeisenUniversity>



季刊誌のバックナンバーは
 公式ホームページで公開中！
<http://www.seisen.ac.jp/>

編集・発行 学校法人聖泉学園
 〒521-1123 滋賀県彦根市肥田町 720
 TEL 0749-43-7511 FAX 0749-43 5201
 Email nyuushi@seisen.ac.jp
 発行日 2014年10月15日



学友会メンバー・アートフェスタ勝負市（彦根市）にて

NEWS & TOPICS 01

滋賀の魅力を発見

見て聞いて、そして体験する

「滋賀論」

人間学部の専門科目「滋賀論」（環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換科目）が、6月21日、28日、7月5日の3日間にわたり開講されました。授業は、滋賀県の歴史・文化を体験的に学べるように展開します。1日目は滋賀県の概説、2日目はそれぞれが感じ取った滋賀県を発表するグループワーク。

そして、最終日はフィールドワークの一環として、琵琶湖周航クルージング。琵琶湖汽船が運航する「megumi」に乗り込み、一日かけて北湖を周遊します。途中、竹生島や沖島に上陸するなど、琵琶湖畔の名勝地を訪れながら、近江の地域文化を体験的に学びました。学生たちも、普段何気なく生活している地域の歴史や文化に触れることで、今まで気づかなかった滋賀県の魅力を再発見することができたのではないのでしょうか。また、他大学からの受講生も交えていたため、大学間の交流も図れるなど、充実した内容で終わることができました。



琵琶湖周航クルージング



琵琶湖に浮かぶ竹生島にて

◆◆◆ 万聖祭に向けて、実行委員会が活動中！

大学は長い夏休みに入っていますが、秋の学園祭（万聖祭）に向けて、万聖祭実行委員会は、日々準備に奔走しています。万聖祭実行委員会は、学生自治組織である「学友会」を中心にして、学園祭の企画、運営を担当します。協賛金を集めるために、企業訪問に出かけたり、当日のステージ企画を考えたり、大学の一大イベントである学園祭を成功させるために、様々な活動をしています。



ステージ幕をいちから作成。学園祭の企画を実行委員で話し合っています



作業に取り組む真剣な眼差し。時にはBBQをしたりして楽しみながら活動しています！

NEWS & TOPICS 02

少人数制のゼミ活動

養老天命反転地での体験学習

このゼミ（合宿は、臨床・発達心理専攻押岡ゼミ所属の3回生及び4回生合同で行われました。

合宿期間中、3回生は卒業研究に係る構想発表を、4回生は卒業研究に係る中間発表をそれぞれ行いました。個々多様な研究テーマに対して、学年間の垣根を越えた議論が活発に展開しました。

議論は長時間に及びましたが、各々が今後の研究を進めていく上での問題点や道筋を確認できたのではないのでしょうか。本学人間学部は滋賀県内で唯一、学びの中心を心理学に据えている学部です。

心理学徒は、とかく「こころの内と外」の関係に興味・関心が向きがちで、学びを進める上で、それらの媒介である「からだ」にはなかなか着目しませんが、しかし、「からだ」は、意識で整理したり、言葉にしたりする以前に多くのことを経験しています。

「養老天命反転地」を体験したことで、ゼミ生達は、整った環境下で日常生活を送る中で忘れがちな「からだを感じる」「からだで感じる」という経験ができたように思います。今回の経験を、「こころ」への興味・関心に活かしてもらえことを期待しています。



「からだを感じる」「からだで感じる」

NEWS & TOPICS 03

人間力を高め合う

教職合宿を行いました

教員免許取得を目指す学生（3回生）を対象とした宿泊研修「教職合宿」を実施しました。同じ目標に向かって頑張る仲間と、寝食をともにすることで生まれる一体感や絆を感じつつ、2日間で、羊との交流、町並み散策、BBQ、グループ討議など多彩な研修プログラムを無事に終了しました。

この研修の特徴は、研修プランを自分達で企画するところから始めることです。どこに行きたいか、何をするのか。自分達で意見を出し合って研修を創り上げていきます。

また、その過程では、段取りを決めて事前に準備する、当日の動きの中でも、アクシデントや様々な状況に対応する。それは、与えられたプログラムに、参加する。のではなく、主体的に、参画する。と言うことです。

その中で、「自分が楽しむこと」と「人を楽しませること」を一緒に考えられるようになる。学校の先生はもちろんのこと、誰にだって必要なスキルだと思っています。

教員になるか、ならないかの結果だけではなく、教職課程の中で学んでほしいのは、そうした「人間力」です。



「自分も楽しみ」「人を楽しませる」

最高の学園祭をお届けします！



facebook でも情報を発信しています！是非ご覧ください。

人間学部 実行委員メンバー

宮川 将直 (伊香高校 出身)	岸田 拓巳 (彦根総合高校 出身)	日頭 勇斗 (近江兄弟社高校 出身)	中谷 里保 (長浜北高校 出身)
小山 香澄 (綾羽高校 出身)	安食 未郷 (長浜北高校 出身)		

記念すべき30回目を迎える万聖祭。今年のスローガンは「一意聖心〜30年の意を継いで〜」です。これまでの先輩たちが築いてきた伝統や学風を継承しながら、例年以上に盛り上げようと、実行委員会一丸となって頑張っています。毎年恒例の吉本芸人によるお笑いライブ、カラオケ大会、仮装コンテストなど、大学生だけでなく、地元の地域住民や高校生の皆様にも楽しんでいただけるように、多彩な企画を考えていますので、どうぞお気軽にお越しください。

facebook 万聖祭実行委員会委員会

検索